



2017・1・21

第261号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

誰もが参加できる行動で世論に働きかけを

「3の日行動」今年も継続し

【宮城県・多賀城・名取・仙台市宮城区】

＜多賀城九条の会＞ 初売りで賑わう1月3日、ヤマダ電機店前(産業道路)において今年最初の「アベ政治を許さない！」スタンディングアピールを行いました。参加者は、これまで最高の21名。七ヶ浜町議の木村さんも飛び入り。そう言えば、昨年1月3日には名前も知らない七ヶ浜の女性が飛び入りでした。

道を行く車の中から大きく手を振るドライバーや同乗者も多く、元気いっぱいのスタンディングとなりました。

1月8日には、成人式の参加者への訴えをおこないました。

＜名取九条の会＞ 正月3日、暖かい陽射に恵まれて13人参加し、スタンディング行動。お参りや初売りでしょうか？車の数も多く、赤信号で止まると手を振ったり応える人がたくさかいました。

某放送局のラジオカーが目の前で手を振ってくれました。

名取市成人式が8日午前11時～開催。受付時間に合わせて、午前9時45分から宣伝。

いつものとおり、横断幕や会の幟を立て、

九条の会第6回全国交流集会の 成果をこれからの運動に ＝＜報告集＞＝

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ(澤地久枝)/問題提起(小森陽一)/世話人あいさつ・メッセージ/分散会の報告(第1～第7分散会)/資料 アンケートから見た九条の会の課題、他

◇B5判 76頁 1冊 800円(〒82)

5部以上〒無料 10部以上1割引

＝＜ DVD＞＝

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ/事務局長報告/世話人あいさつ・紹介

◇取り扱い 1本 1500円(〒160)

南スーダン派遣自衛隊の即時撤退や18歳選挙権が去年施行されたことに伴い、若者に政治や憲法を考えてほしいチラシを配布。

なかなか受け取らない若人もいますが、成人おめでとうと笑顔で声掛けしながら行動。(名取九条の会 後藤さん)

＜仙台市宮城区＞ 6地域の9条の会(岩切、東仙台、原町、新田、幸町、燕沢地区)を中心に行ってきた毎月の19行動のスタンディ

ングとともに、45号沿線でもっとも交通量の多い交差点、原町交差点で9条の会メンバーや個人が参加して、毎月3日に坂下点で有志が集まって行うことになりました。初日の1月3日は松の内にも関わらず20人が参加しました。

家の門や塀にも常時掲げる人も

【東京都小金井市・9条の会・こがねい】

正月の3日午後1時から、今年初の「アベ政を許さない」をアピールするスタンディングが、武蔵小金井駅の南口で総勢18人が参加して行われました。通行する人たちも、新年早々からの大勢でのアピールに出会って、気を引き締められたようでした。

駅頭でプレート掲げてアピールするスタンディングは、小金井ではちょうど1年前の1月から毎月3日に行われてきました。9条の会・こがねいで活動している人のほかに市民の有志も参加して続けられています。

安倍政治の暴走ともいうべき強権政治に対して国民の一人ひとりが自らの率直な意思をメッセージプレートを掲げて表示して周囲にアピールするというこの行動は、九条の会の運動の呼びかけ人の一人である作家の澤地久枝さんが一昨年提唱してから全国で実行されているものです。

小金井でも、駅頭で集まってスタンディングで意思表示するだけでなく、個人の家の門、塀などに常時掲げている形の行動も出ています。このように、だれでもその条件に応じて取り組める行動であり、全国で行われています。

日本の平和の問題だけでなく、TPP問題、医療・介護制度、雇用・労働制度など、安倍政

権の政治に対しては、多くの国民が様々な観点から不安や不満を抱えています。そのような思いを政権・与党に突き付け、同じ思いの人々と連帯しようとする、まさに草根の運動です。ますます広がってほしいものです。（「9条の会・こがねい」132号）

南スーダン自衛隊撤退へ力こめて

【青森県・青森県九条の会】

青森県九条の会は、1月3日に「アベ政治を許さない」とアピールする全国いっせい宣伝に呼応するスタンディング行動を青森市駅前公園で行いました。22人が参加しました。

寒風の中、参加者は「今年は安倍政権倒しましょうね」「そうだ、がんばろう」と新年初顔合わせのあいさつを交わしながらポスターを掲げ一列にならび市民へアピール。

安倍政権を退陣させるため行動し続けると決意を語る参加者へ拍手を送る通行人や、「戦争法は、いまずぐ廃止」「みんなの力で憲法守ろう」「アベ政治は許さない」のコールと一緒に口ずさむ男性もいました。

買い物に訪れていた市内在住の夫婦は、「青森の自衛隊を危険な南スーダンに送るのは、人の命を命とっていないから。安倍政権は恐ろしい政権。総選挙で安倍政権を退陣させなきゃいけない」と話しました。

高校生も自衛隊撤退の署名

【秋田県・秋田九条の会・潟上九条の会】

「アベ政治を許さない」のポスターを一斉に掲げ新年初のスタンディング行動が3日、秋田市、潟上市などで行われました。

秋田市では「秋田九条の会」、「あきた女性九条の会」などが呼びかけ、正月でにぎ

わう J R 秋田駅前では通行中の人たちにビラを配り、「戦争法廃止・南スーダンからの自衛隊撤退」署名への協力を呼びかけました。自らサインする男性や、説明を聞き「危険だから自衛隊はすぐ撤退すべきだと思う」と高校生などが署名しました。

潟上市では「潟上九条の会」のメンバーらが県道沿いで、手作りの「自衛隊南スーダン派遣許さない」「戦争法廃止、九条守れ」の横断幕やプラスターを掲げ、注目を集めました。高校生らが笑顔で激励しました。

「平和でこそ商売繁盛」と訴え

【香川県・九条の会かがわ】 九条の会かがわは6日、高松市の商店街で戦争法廃止を求める今年最初のデモ行進を行い70人が参加しました。

デモに先立ち安部行洋・九条の会かがわ事務局長、明珍宗豊・県商工団体連合会事務局長、中田耕次・県民医連会長らがリレートークし、明珍氏は「先の大戦では多くの中小業者が廃業に追い込まれた。平和でこそ商売繁盛だ」と力を込めました。

安部氏は「就職難の地域では高卒者も多く自衛隊に入隊する。教え子の命が危ない。私たちの運動を大きくしていこう」と呼びかけました。

安倍首相の思いどおりにさせない

【徳島県・九条の会徳島】 九条の会徳島は9日、戦争法廃止、集団的自衛権行使容認の「閣議決定」撤回を求める「9の日」宣伝を徳島市で行いました。

参加者13人が「えびす祭り」でにぎわう徳島駅前元町交差点で4ヵ所に分かれ、「守

ろう！ 憲法9条 I ラブ憲法」の横断幕やカードを掲げ市民の注目を集めました。

河村洋二事務局次長は「南スーダンに派遣された自衛隊に不測の事態が起これば、9条がないに等しくなる。即時撤退を求める。9条改憲を狙う安倍首相の思い通りにはさせない」と語りました。

国道沿いに2つ目の大看板

【福島県伊達市霊山町・霊山9条の会】

霊山(りょうぜん)9条の会は、「憲法9条は私たちの宝 武力で平和はつくれない！」と書かれた大看板を作成し、思いをアピールしています。昨年暮れには、10数人が参加し、国道沿いに立てて間もない大看板前でにぎやかに初宣伝しました。住民やドライバーから注目を浴びました。

大看板前で、横断幕や「アベ政治を許さない」のプラスターを掲げると、車の中から手を振るドライバーや家族もいました。

参加したメンバーは「これからも定期的に宣伝したい」と決意を新たにしました。

大看板の設置場所は、福島市から太平洋側の相馬市に抜ける国道115号の同町下小国(しもおぐに)の三差路付近。大きさ縦1・5m、横1・8mで、風雪にも耐える本格的なつくり。大看板の文章はみんなで議論して決め、業者に書いてもらいました。

大看板用に土地を快く貸した男性は「憲法は守らなければならない」と言います。

同9条の会事務局の会田恵さん(58)は「安倍政権をこれ以上続けさせるわけにはいかない。もっと行動しないと」と話します。同様の看板を町内中心部にも一つ立てています。

<新聞OB「九条の会」での講演要旨>

北村 肇

(毎日新聞OB・新聞労連元委員長)

【新聞が報じない“壊憲”の事実】

今、新聞らしい報道をしているのは東京新聞だけだ。沖縄・高江のヘリパッド工事現場に行ってきたが、現地の取材・報道が機動隊に規制され、民主主義が独裁政治に奪われたクーデターといえる。事実上憲法が壊されており、これを元に戻す闘いだ。

天皇制反対デモに対する右翼の妨害も警察は見逃し、これまで違憲だった核兵器や生物・化学兵器の使用が国会で合憲とされても、ろくに報道しない。ヒトラーの全権委任法のように、政府が企図する緊急事態法や共謀罪が成立すれば、改憲も必要なくなる。主権在民も基本的人権も失われ、これは“壊憲”の仕上げということになる。

【新聞への提言】

7月23日付東京新聞は、翁長沖縄県知事が政府による辺野古新基地再提訴とヘリパッド着工に抗議という記事を1面トップに掲げているのに対し、朝日はポケモンGOの記事をトップに扱っているのは全くナンセンス。新聞なら体を張って言論・報道の自由を守れと言いたい。

5月4日付朝日は5万人が集まった護憲集会と改憲派の集会をそれぞれ22行ずつ報道した。公平・中立と思ってのことだろうが、これは意味のない客観報道だ。読売は逆に改憲派を先に13行、護憲派を10行扱っており、むしろこの方が正直だ

われわれの仕事は権力批判であり、権力や不正に対する公憤を忘れてはならない。

「九条の会」一年生

2015年の戦争法への疑問や怒りから、会の集会や行事に参加するようになりました。その活動を通じ色々な問題を話し合い、活動に参加し行動できる大切な機会を得ています。

ご存知の通り「あつぎ・九条の会」として従来から幅広い活動が行われているのですが、その参加の程度は各自可能な範囲で全く自由で自主的です。そのため私のような「軟弱会員」でもマイペースで参加してきました。

イベントへの参加よびかけや、署名活動は簡単ではありませんが、それだけに一枚でも売れば、また1筆でも署名を戴ければ大感激です。もちろん活動の大切な目的は一人でも多くの方々に接することだと思います。昨年行われた「2千万署名」の戸別訪問やポスティングでは、訪問先の方から賛同と励ましを受けることもあり、本当にうれしくなりました。

様々な活動を通じて、自分の大好きな「憲法九条」の輪を少しでも広げられたらうれしい、そんな気持ちで参加しています。

今、好きな言葉は「憲法が君たちを守る、君たちが憲法を守る」(『憲法と君たち』佐藤功著)です。(伊部康雄)

(神奈川県「あつぎ・九条の会」第123号)

記者は事件、事故を右から左に流すポーターではなく、高潔な志と倫理観をもったライターになれ。(「新聞OB『九条の会』」第94号より)